

---

地域包括ケア「見える化」システムを活用した  
地域の現状と課題について

---

令和8年 3 月

はじめに

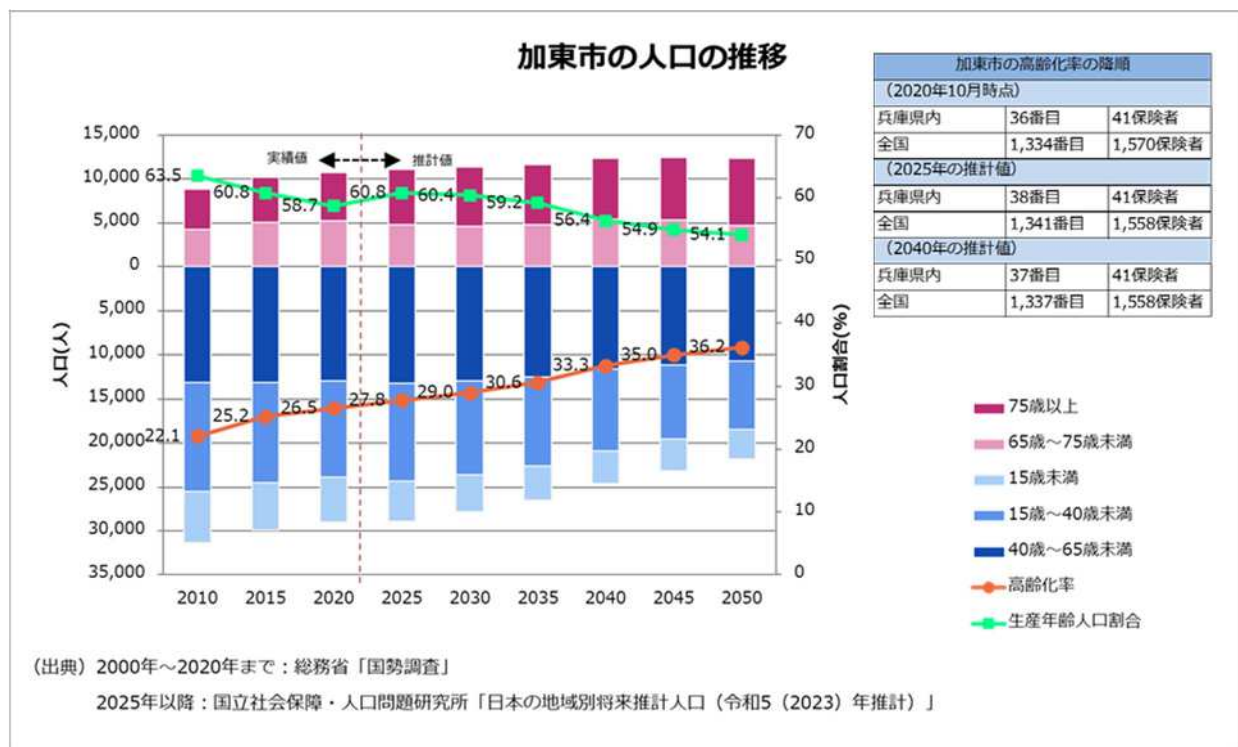
地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業(支援)計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムで、介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化されています。

地域包括ケア「見える化」システムの活用により、今後の介護予防の推進や地域包括ケアシステムの深化に向けて、本市の現状と課題を把握し、地域の関係者間で共有するための基礎資料とすることを目的として作成したものです。

## 1. 基本情報

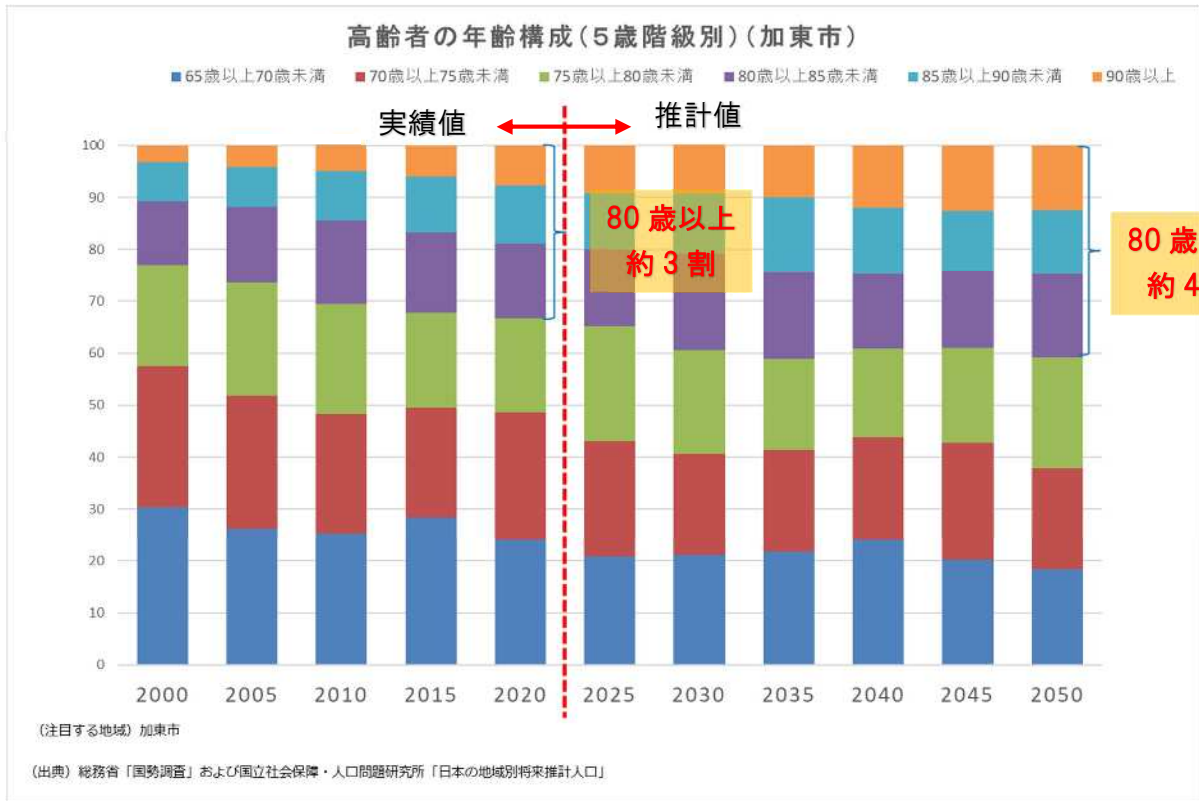
### (1) 人口推移

2020年の本市の国勢調査の結果から、総人口 40,645 人とピークを迎えましたがそれ以降は減少が予想されます。一方で「日本の将来推計人口(令和5年推計)」では、2020年の65歳以上人口 10,757 人、総人口に占める割合は、今後急激な上昇が予想され、2020年の高齢化率 26.5%から、2050年 36.2%まで増加を見込んでいます。なかでも後期高齢者(75歳以上人口)が総人口に占める割合は、2020年の 13.6%から2050年の 22.5%まで増加することが見込まれます。一方で、地域の支え手である生産年齢人口割合は、2020年の 58.7%から、2050年の 54.1%まで低下する見込みです。後期高齢者は前期高齢者と比較して認定率が高いことから、後期高齢者人口の増加により要支援・要介護者の急激な増加も見込まれます。



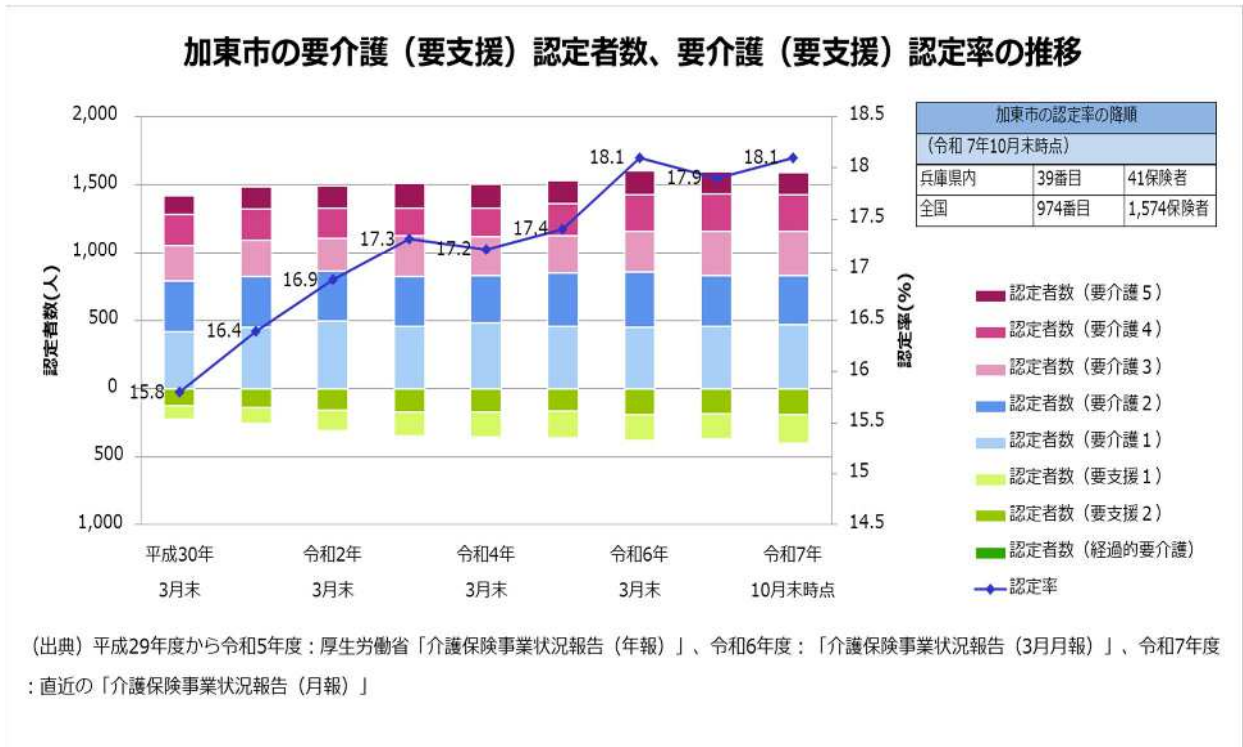
### (2) 高齢者の年齢構成

5歳階級別の本市の「高齢者の年齢構成」では、2020年は80歳以上が約3割でしたが2035年にかけて増加し、80歳以上は約4割になることを推計しています。



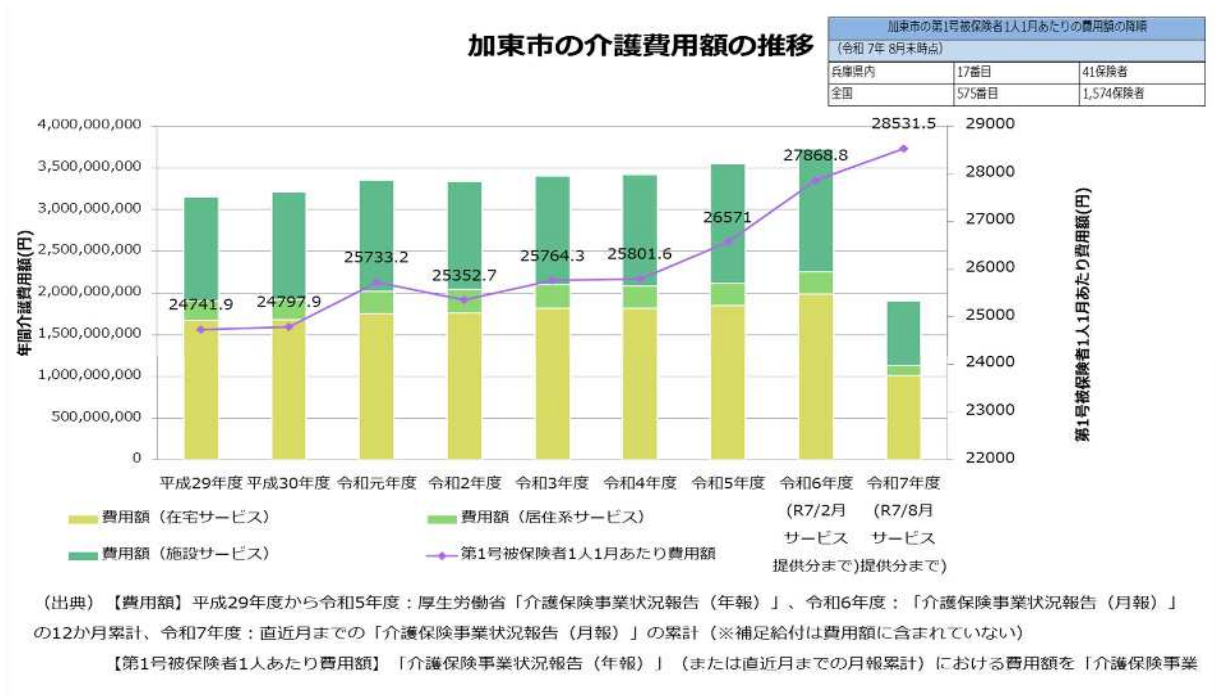
### (3) 要介護(要支援)認定者数、要介護(要支援)認定率の推移

本市の認定率は、令和7年10月末時点で全国と比較して、1574 保険者中 974 番目、兵庫県内では 41 保険者中 39 番目となっており、他の保険者より比較的認定率は低い状況にあります。令和7年10月末時点の認定率は18.1%で平成30年3月末の15.8%と比較して2.3ポイント上昇しており、中でも要介護1が高い割合で占めています。認定率は加齢に伴って上昇する傾向があり、今後、更に後期高齢者人口の増加により、認定率も増加することが予想されます。



#### (4) 介護費用額の推移

本市の第1号被保険者1人1月当たりの費用額は令和7年度のR7.8月までで28,531.5円で平成29年度と比較して3,790円上昇し年々高くなっている状況です。また、令和7年8月末時点で全国と比較したところ1574保険者中575番目、兵庫県内では、41保険者中17番目で第1号被保険者1人1月当たりの費用額が全国、県と比較しても高いことが分かります。



#### (5) 保険料額の推移

「保険料基準額」は、3年を1期とする期間中の介護保険サービス費用等を賄うため、保険者が推計した介護保険サービス費用等をもとに、期間を通じて同一額で設定されています。期間中の介護保険サービス費用を賄ったうえで余剰が出た場合は、次期の介護保険サービス費用を賄うために充当されます。

「必要保険料額」は介護保険料基準額設定のために保険者が推計した費用を、実績値に置き換えて算出したものです。第9期は保険料基準額より必要保険料額の合計が上回っており介護給付費等が令和5年度以降、全体的に急激に増加していることがわかります。

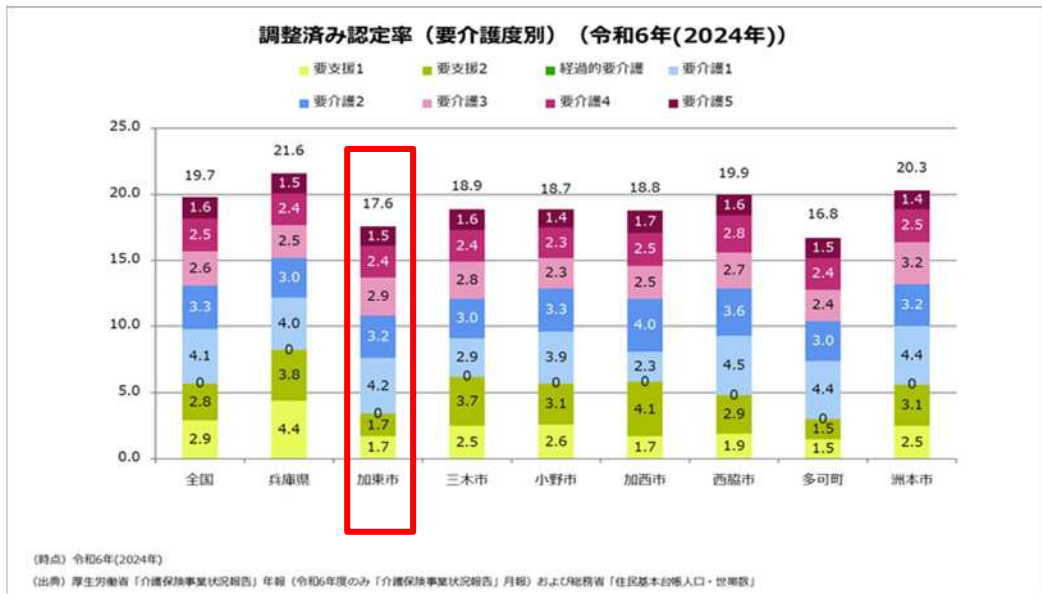


## 2. 認定情報

### (1) 調整済み認定率(要介護度別)

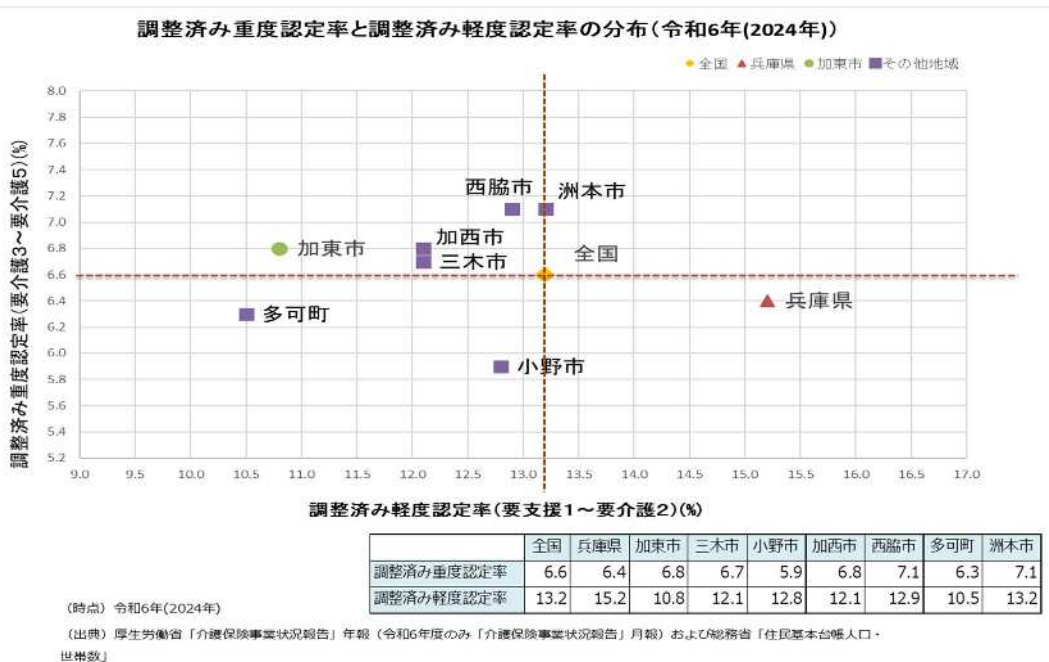
本市の「調整済み認定率」の近隣市及び類似市(以下「近隣市等」という。)との比較では、本市は多可町の次に低いことがわかります。また、本市は1号被保険者に対する要介護1の占める割合は、他の要介護度と比べて4.2%と高いが、全国、兵庫県又は近隣市等と比較するとほぼ同程度であることがわかります。

※ 「認定率」は、要介護認定を受けている方が第1号被保険者に占める割合を指し、「調整済み認定率」とは、認定率の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率を意味します。第1号被保険者の性・年齢構成以外の要素の認定率への影響について、地域間・時系列で比較がしやすくするため、第1号被保険者の性・年齢構成が、どの地域も全国平均やある地域の1時点と同様になるよう調整しています。



### (2) 調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布

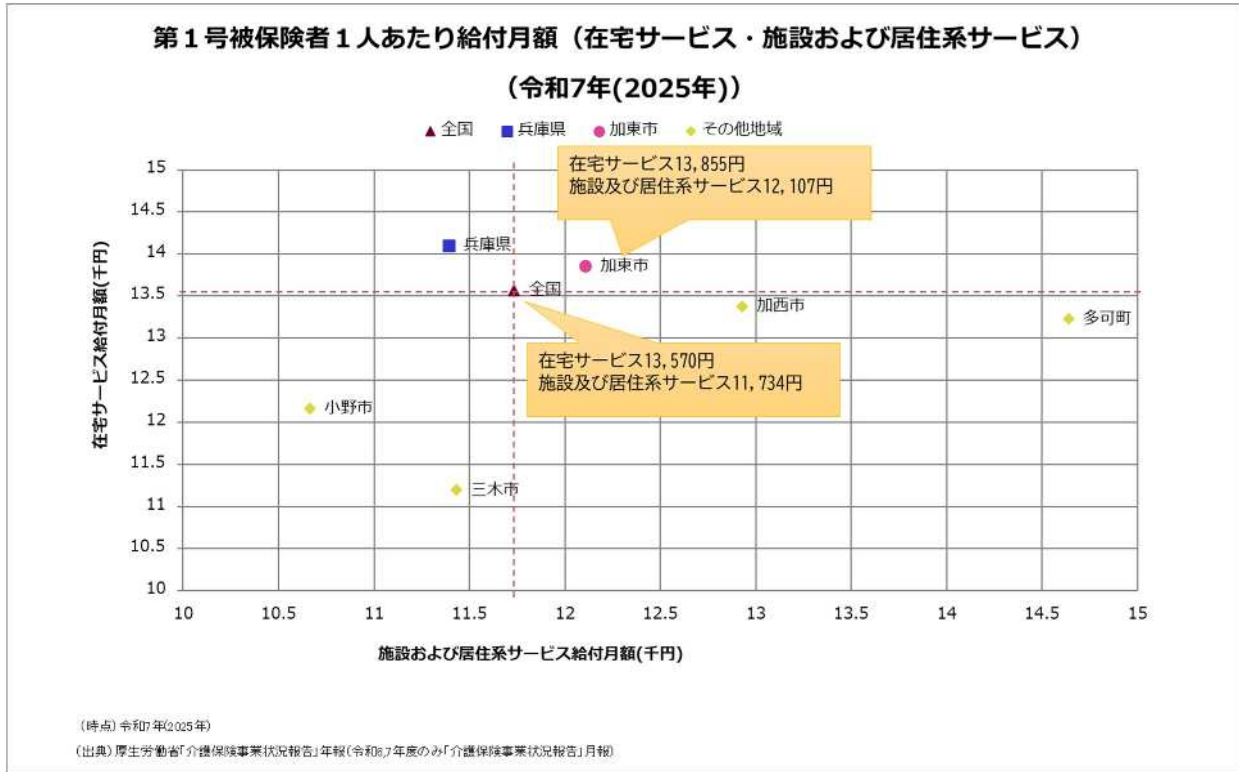
本市の調整済み認定率を全国平均、兵庫県平均と比較すると、軽度認定率(要支援1・2)は、低く、重度認定率(要介護3~5)は若干高くなっています。小野市や多可町は、全国平均及び兵庫県平均と比較していずれも低いという状況です。



### 3. 給付情報

#### (1) 第1号被保険者1人あたり給付月額(在宅サービス・施設および居住系サービス)

本市の第1号被保険者1人あたり給付月額は、全体的に高い傾向にあり、その中でも「施設および居住系サービス」は全国平均及び兵庫県平均より高く、「在宅サービス」は、兵庫県平均よりやや低いものの、近隣市等が全国平均を下回る中、本市のみ全国平均を上回っている状況となっています。



#### (2) 第1号被保険者1人あたり給付月額(要介護度別)

